

## イエスの聖テレサ（アヴィラの聖テレジア）の『完徳の道』

現在、世界の跣足カルメル修道会では、2015年のイエスの聖テレサ（アヴィラの聖テレジア）生誕500年祭に向けての準備に入っています。今年の1月から3月にかけての『カルメルの小窓』では、聖テレサの年表を提示し、10月には『自叙伝』の紹介をしました。今月は『完徳の道』を紹介します。

この作品は、『自叙伝』を完成した後に完成しますが、作品完成年代にはいろいろな説があります。聖テレサの専門家であるトマス・アルバレス師によりますと、『自叙伝』の完成が1565年の終わりであり、また、『創立史』の内容からアメリカの宣教師マルドナド師との出会いが1566年終わりですので、1566年には、ヴァリャドリド版も完成していたのではと伝えています(cf. DICCONRIO de SANTA TERESA より p95)。他には1567年説（EDE出版のテレサ作品集の解説）、1569年説（Joseph Perez氏の説）があります。このヴァリャドリド版作成の前にエスコリアル版が作成されましたが、この作品がいつごろ作成されたかについてはよくわかっていません。但し、1562年8月24日にアヴィラのサン・ホセ修道院創立からテレサ的カルメルの生活が始まっており、テレサがアヴィラからメディナ・デル・カンポに第二の修道院を創立するために出かけるのが1567年ですので、そしてこの作品がサン・ホセ修道院の最初のカルメリットの修団に宛てて書かれていますので、『自叙伝』完成の1565年から1567年までの間に完成されていることは確かです。しかし、それがいつごろに完成して、いつごろにサン・ホセ修道院のカルメリットの手に渡ったのかは今のところ知るよしもありません。

それに加えて、最初の編集であるエスコリアル版は、テレサの生存中にカルメリットの手に渡っていなかったことも確かです。当時のテレサの指導司祭たちが、エスコリアル版をカルメリットの手に渡ることを許しませんでした。『自叙伝』もすべての人に見せるべきものではないと判断しています。エスコリアル版はテレサの感覚では『自叙伝』の延長線上に書かれています。そのため、当時のカトリック教会の検閲に照らして内容の書き直しを命じたのです。そのために、ヴァリャドリド版が作成されました。しかし、最初の編集がエスコリアル宮殿図書館に保存されていたため、現在のわたしたちも見ることができません（現在、日本語訳はありません）。

実はもう一度、テレサは自分の手によって、このヴァリャドリド版の見直しをしています。それは、ポルトガルで『完徳の道』の最初の出版計画が出てきたからです。最終的に1583年にポルトガルから出版されますが、1578年の終

わりから 1579 年の間に原稿をテレサの手によって、ポルトガルのエボラの司教テウトニオ・デ・ブラガンサ卿に送られています。

その後、跣足カルメル会士グラシアン師によって 1585 年サラマンカにて出版、ヴァレンシアの司教による出版が 1587 年、アウグスチノ会士ルイス・デ・レオン師による出版は 1588 年サラマンカで続きます。

次に『完徳の道』＜ヴァリャドリド版＞の構成を 2010 年にローマ本部から出されましたガイドに基づいて紹介します。

- 1 章～ 3 章：祈りと観想生活の意図
- 4 章～18 章：この生活の必要条件。相互愛・離脱・謙遜の徳
- 19 章～25 章：基本的な祈りの生活の姿勢
- 26 章～29 章：潜心の祈り（能動的）
- 30 章～35 章：静穏の祈りと一致の祈り
- 36 章～39 章：祈りの識別としてのゆるしと偽りの徳の誘惑
- 40 章～42 章：神を愛することと畏れること。そして永遠の生命への切望。

この作品の内容がカルメリットへ向けた生活指針となりますので、聖別奉献生活の観点で述べられています。しかし、カリスマは一修道会に閉じ込められるものではなく、修道会のカリスマは信徒にも流れ出るとというのが、教会の教えでもあります（cf.ヨハネ・パウロ二世『奉献生活』No.54,62）。信徒の立場からも祈りに関する多くの示唆を与えてくれるでしょう。

また、2011 年 8 月 29 日から 9 月 4 日まで、『完徳の道』の学術大会がスペインのアヴィラで開かれ、次の部門で講演がありました。

- 1. この作品に関する資料の報告
- 2. 言語的解析とテレサの自伝分析
- 3. テレサの信仰体験から生まれる教えについて
- 4. この作品における各視点からの教え
- 5. この作品の現代への語りかけ

作品の現代への語りかけの中で、ラウル・ベルソーザ司教様がニュー・エイジ靈性運動に対するテレサの『完徳の道』の真実性を強調していましたが、スピリチュアリティが氾濫している現代では、聖テレサのクリスチャン・スピリチュアリティ（キリスト教靈性）は大きな指針になります。

<参考文献>

- TERESA DE JESÚS, *Obras completas*, Diligida por BARRIENTES, Alberto Ed. EDE, Madrid 2000
- ÁLVRES Tomás(Dir.), *Diccionario de Santa Teresa de Jesús*, Ed. Monte Carmelo, Burgos 2006
- PÉREZ Joseph, *Teresa de Ávila y la España de su tiempo*, Ed. ALGABA, Madrid, 2007
- “*Guión para la lectura del Camino de Perfección*”, Casa general, Roma,2010

文責 松田浩一 神父 カルメル会士